

災害からあなたとあなたの大切な人たちの命を守る

大阪防災アプリ

避難カード

マイタイムライン

って?

梅雨の時期は大雨などによる風水害が予想されます。住之江区では、大和川の氾濫(川の水があふれること)なども考えられます。ここでは、ぜひ活用していただきたい

大阪防災アプリ 避難カード マイタイムライン の特徴についてご紹介します。

家族や周りの人たちと考え、話し合い、できることから備えをすすめましょう!



大阪防災アプリ

・「大阪防災アプリ(大阪市防災アプリ)」は、災害状況や避難時の注意点、避難するかどうかの判断に役立つ情報などを入手できるアプリです。

・**避難所や水害ハザードマップなどを、今いる場所から地図上で確認することができます。**

・**インターネットが利用できない状態(オフライン)でも、利用可能です。**

・このアプリで、日常的に防災に関する情報をご確認いただけます。ぜひダウンロードしてください。



▲大阪防災アプリアイコン

ダウンロードはこちら

Android版

iOS版



避難カード

・「避難カード」は、災害時に、**命を守るための自身の行動などをあらかじめ計画するためのもの**です。

・大雨や台風、地震、津波など、災害の種類によってとるべき行動が変わります。「避難カード」はこれら複数の災害への対応策を掲載しています。

・事前に計画することで、地域の中でのつながりも見え、災害時の**自助・近助**につながります。

・普段からの非常持出袋の準備や避難時のシミュレーションに活用してください。

詳しくはこちら

避難カードの作り方



携帯版も出たよ!



マイタイムライン

・「マイタイムライン」は、台風や河川の増水など、事前に予測しやすい災害などにおいて、災害の状況に合わせたとるべき行動を示しているものです。

・警戒レベルなどによって、**命を守るための自身の行動が変わります。**

・数日前から予測できる災害において、現在の災害状況に合わせた、とるべき行動をまとめることもできます。

・災害レベルや災害状況の時系列に応じた避難の準備に役立ててください。

詳しくはこちら

マイタイムライン



災害時に要支援者を支援する



個別避難計画の作成を進めています

個別避難計画とは、近年多発している災害で、多くの高齢者や障がい者の方々が犠牲になっていることを受け、災害が発生した時に、避難に支援が必要な方々に対して支援ができるよう、その方の状況や避難先、避難を支援する方や団体(支援者)などを記載したものです。

住之江区では、自主防災組織等の地域の方々と連携しながら、個別避難計画の作成を進めています。

災害発生時は、とりわけ近隣の人同士での協力が必要です。普段からあいさつを交わすなどして顔見知りになっておくことをはじめとし、「近助」の推進にご協力ください。

詳しくはこちら



アンダーパスを利用する方へ

地面を掘り下げたぐり抜け式通路である「アンダーパス」は、大雨等風水害の時には、冠水する恐れがあります。冠水時には「通行止め」を行う場合があります、その際は迂回が必要です。

住之江区内には2か所にアンダーパスがあります(※)。特に、雨が多い時期には、冠水の危険性にご注意ください。

※大和川北岸線アンダーパス、南海本線アンダーパス



詳しくはこちら



問合せ

建設局住之江工務所
☎06-6686-0434

水防団を知っていますか?

能登半島地震など、近年、大規模な災害が全国各地で発生しています。このような災害はいつ起きてもおかしくありません。

そんな中、水害から「まち」を守るため、活躍されている「水防団」をご存じですか?

水防団は、集中豪雨や津波や高潮などによる水害を最小限に食い止め、地域住民の生命・財産を守るための組織です。

現在「水防団」では新たな仲間を募集しております。詳細は、こちらの二次元コードをご覧ください。



水防事務組合管理者
大阪市長 横山 英幸

詳しくはこちら



水防事務組合HP



大和川右岸水防事務組合YouTube

問合せ

大和川右岸水防事務組合
☎06-6694-0271



問合せ 区協働まちづくり課(防災) 窓口④番 ☎06-6682-9974